

医療福祉連携室たより

No.41

医療法人社団
松柏会



医療福祉連携室たより
第41号

2023年 医療福祉連携室 巻頭言

明けましておめでとうございます。皆様、今年のお正月はいかがお過ごしでしたでしょうか。この3年間は、本当に「コロナ感染症」に翻弄されました。さらに、院内クラスターを発生してしまいました。地域の方々には大変ご迷惑と御心配をおかけしてしまいました。3年前まではPCR検査などという言葉は実験室レベルの言葉でしたが、もう世界中の方々が知らない人はいないくらいの言葉になってしまいました。コロナ検査も抗原定性・定量など日常茶飯事となり、一般国民でもお金を出せば自分で調べられる時代になってきました。この勢いであれば、来年からはインフルエンザ検査も御自分で検査し自宅療養で管理する時代になるのではないのでしょうか。

そんな「コロナ感染症」時代の中でも当院も日々進化しております。今年の1月からは、呼吸器内科の専門医であられる、木村友美先生が当院着任されます。

当院は昔から、伝統的に呼吸器内科は強い病院でしたが、今年はさらにバージョンアップしてきます。今後は、普段の診療だけでなく、さらに呼吸器内科の専門性を地域医療に貢献できる事を目指します。専門外来として禁煙外来・睡眠時無呼吸症候群外来・塵肺外来など充実させ、市民の皆様にとさらにかかりやすい呼吸器内科を目指していきたいと思っております。

まだまだ、「コロナ感染症」の戦いは続くとは思いますが、コロナ感染症軽症者向けの内服薬の販売も始まろうとしております。このお薬が普及する事で濃厚接触者の医療従事者が1日でも早く職場復帰でき、普段の医療が安全にできる日は近いと思っております。

皆さん、今年も「コロナ感染症」にめげずに頑張ってください。



医療福祉連携室長

中島 幸裕

摂

せっしょくえんげ

食 嚥 下

外来を行っています



呼吸器内科部長
荒生 剛 医師

飲み込み(摂食嚥下)に不安のある方の検査を、外来で行っています。外観では飲み込みのどこに問題があるかわかりにくいので、嚥下内視鏡(VE)、もしくは透視下(VF)で嚥下の状態を検査します。摂食嚥下リハビリテーション学会認定士の医師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士、言語聴覚士が評価し、問題があればその後の対応などもお話しします。

今まで食べていた食事が
食べられなくなった

肺炎を繰り返している

ムせることが多くなった

飲み込みに違和感がある方は
是非ご相談ください。

嚥下内視鏡検査
の様子



事前予約が必要です

嚥下外来日 木曜日

お問い合わせ先 医療福祉連携室

※現在コロナ抗原検査にて陰性を確認後、
嚥下検査を実施しています。



栄養科の紹介



「栄養相談やっています」

当院の管理栄養士が生活習慣や食事内容等を確認し、無理なく続けられる具体的な方法を提案しています。1回30分程度の個別相談です。お気軽に当院スタッフへご相談下さい。

入院中の食事

年15回の行事食をはじめ、日々の食事にも旬の食材を多く取り入れ、季節を感じられるよう心がけています。週1回の麺の日には、だしにこだわった自慢の麺料理を提供しています。嚥下調整食にも力を入れており、摂食嚥下障害の方でも安心して食べていただける食事をご用意しております。また、食事が摂れない方には管理栄養士がお伺いし一人一人に合わせた食事を提供しています。

行事食



クリスマス



年越し手打ちそば



お正月

嚥下調整食



嚥下調整食
(ソフト食の一品)



お汁粉
とろみ
(個別対応)



炭酸とろみ
(個別対応)

誰でもご入会できます

やまがた 健康友の会

当院や関連施設協力のもと、地域住民約6,700名以上が会員となり、会員の健康を守る保健予防活動や、安心して住み続けられるまちづくりをめざしています。

会員価格でお得な健診が受けられます。がんばらないウォーキング、ひとり暮らしサポート等様々な企画を開催しております。また、ご好評をいただいている桜の実カフェ（百歳体操）を2022年12月より再開しております。

桜の実カフェ
（百歳体操）



秋のミニレク企画
安久津八幡神社

山形市との懇談を実施 長年の要望で成果

2022年10月28日、友の会と医療生協やまがた合同で懇談を行いました。新型コロナウイルス感染対策や、医療・介護・福祉などの要望書を提出、回答を求めました。

- 住民税非課税者への福祉灯油購入費等の給付金増額
県と市で各2500円→県と市で各5000円にUP
- 補聴器の購入補助制度の実施決定
早期発見、普及・啓発、購入後のフォローアップをセットにした制度を新設。



山形市との
懇談

法人関連施設紹介

介護療養型老人保健施設

木の実 通所リハビリテーション

こんにちは、木の実通所リハビリテーションです。

当施設は、旅籠町にある最上義光歴史館の東側にあります。利用者様は要介護者が約7割、要介護1の方がもっとも多く、7割が女性です。



集団リハ

施設の特徴

- 1 医療の安心：施設長の医師以外に、至誠堂総合病院医師が兼務し、毎日の健康観察、新規利用者やマネジメント加算算定者への医師面談を行っています。緊急時は、わかばクリニック（併設）や至誠堂総合病院への受診や救急搬送等、医療連携が可能です。
- 2 リハビリの充実：PT・OT 常勤計5名配置。要支援者の方にも個別のリハビリや入浴支援が可能です。
- 3 食事の楽しみ：通常日の昼食やおやつ以外に、毎月のお楽しみ食で、利用者様に喜んでいただいております。



浴室



個浴室



毎月のお楽しみ食

診療科	月	火	水	木	金	土
新患	各医師交代	各医師交代	富樫 整	谷口昌光	川瀬隆一	糖尿病外来 長岡杏子 (山形大学) (第3週)
総合内科				川瀬隆一	川瀬隆一	
呼吸器内科	荒生 剛 木村友美	荒生 剛 木村友美	高橋敬治	荒生 剛 小林真紀 (山形大学)	高橋敬治 木村友美	
循環器内科			渡邊 哲 (山形大学)		加藤重彦 (山形大学)	
消化器内科	中島幸裕	中島幸裕	中島幸裕			
糖尿病内科	富樫厚仁	小山美希子 (山形大学)	富樫厚仁	富樫厚仁		
脳神経内科	谷口 央 (外来 11:30 まで) (新患 10:30 まで)	谷口 央	谷口 央	谷口昌光	谷口昌光	
緩和ケア科		神谷浩平 (月2回)				
外科	内田徹郎 (山形大学)	薄場 修	薄場 修		中村 潤 (山形大学)	
整形外科	鈴木光典	加藤義洋	寒河江拓盛 (山形大学)	小林真司 (リウマチ外来含む) 加藤義洋	鈴木光典	
耳鼻科	山形大学 (9:45 ~ 12:00)		伊藤 吏 (9:45 ~ 12:00) (山形大学)		山形大学 (9:00 ~ 11:30)	
婦人科		渡部 洋 (東北医科薬科大学)		清野 学 (山形大学)		
健診	広瀬公子	川瀬隆一	広瀬公子	広瀬公子	広瀬公子	
検査	富樫 整	富樫 整	小野里祐介 (山形大学)	八木 周	閑田陽子 (第1・2・4・5週) 翁 健和 (第3週)	
午後 14:00 ～ 17:00	内科	富樫 整 高橋祥也	伊藤英三 (第2・4) 高橋敬治 木村友美 中島幸裕 (16:00~17:00)	富樫 整	島崎朋司	島崎朋司 (第1・2・4・5) 翁健和 (第3週) 木村友美
	整形外科				小林真司 (予約のみ)	休診
	眼科	※3月より月・火の 午後になります	西 勝弘 (2:00 ~ 4:00) (山形大学)		桐井枝里子 (2:00 ~ 4:30) (山形大学)	
	皮膚科				東北大学	
	検査	内視鏡		小野里祐介 (山形大学)	八木 周 (山形大学)	
嚙下内視鏡				荒生 剛 木村友美		
超音波	島崎朋司	谷口 央	渡邊 哲 (山形大学)	谷口 央	加藤重彦 (山形大学)	

ハイ、医療福祉連携室です！

医療福祉連携室では、スムーズな医療・福祉・介護の連携が図れるようお手伝いさせていただきます。レスパイト入院のご相談もお受けしております。

入院・転院・
外来相談 直通：023-642-8126

志鎌勝也 (社会福祉士) 高橋静子 (看護師)
松浦 望 (事務)

入院中の相談 直通：023-622-7551

木村陽子 (社会福祉士) 青木裕子 (社会福祉士)
高橋由希 (社会福祉士) 松田 愛 (社会福祉士)
佐藤朱里 (社会福祉士)



今年もどうぞ
よろしくお願
いいたします。



至誠堂総合病院 医療福祉連携室

山形市桜町 7-44 TEL 023-622-7551 (直通) <http://www.shiseido-hp.jp> E-mail mail@shiseido-hp.jp

発行責任者 / 至誠堂総合病院医療福祉連携室室長 中島 幸裕

編集 / 医療福祉連携室